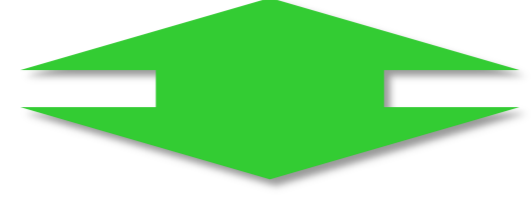


背景

機能性食品は、「上手に」利用することで、健康の維持・増進に寄与する。



機能性食品は、誤った使い方をすると栄養バランスを損ない、健康に対するリスク要因になり得る。

機能性食品の利用に当たり.....

- ✓ 消費者 : 正しい知識、適切な情報収集が必要
- ✓ 開発者・販売者 : 適切な情報提供が重要

目的

機能性食品に関する第三者機関として、消費者に対してどのような情報を提供すればよいかを検討する。

その第1段階として.....

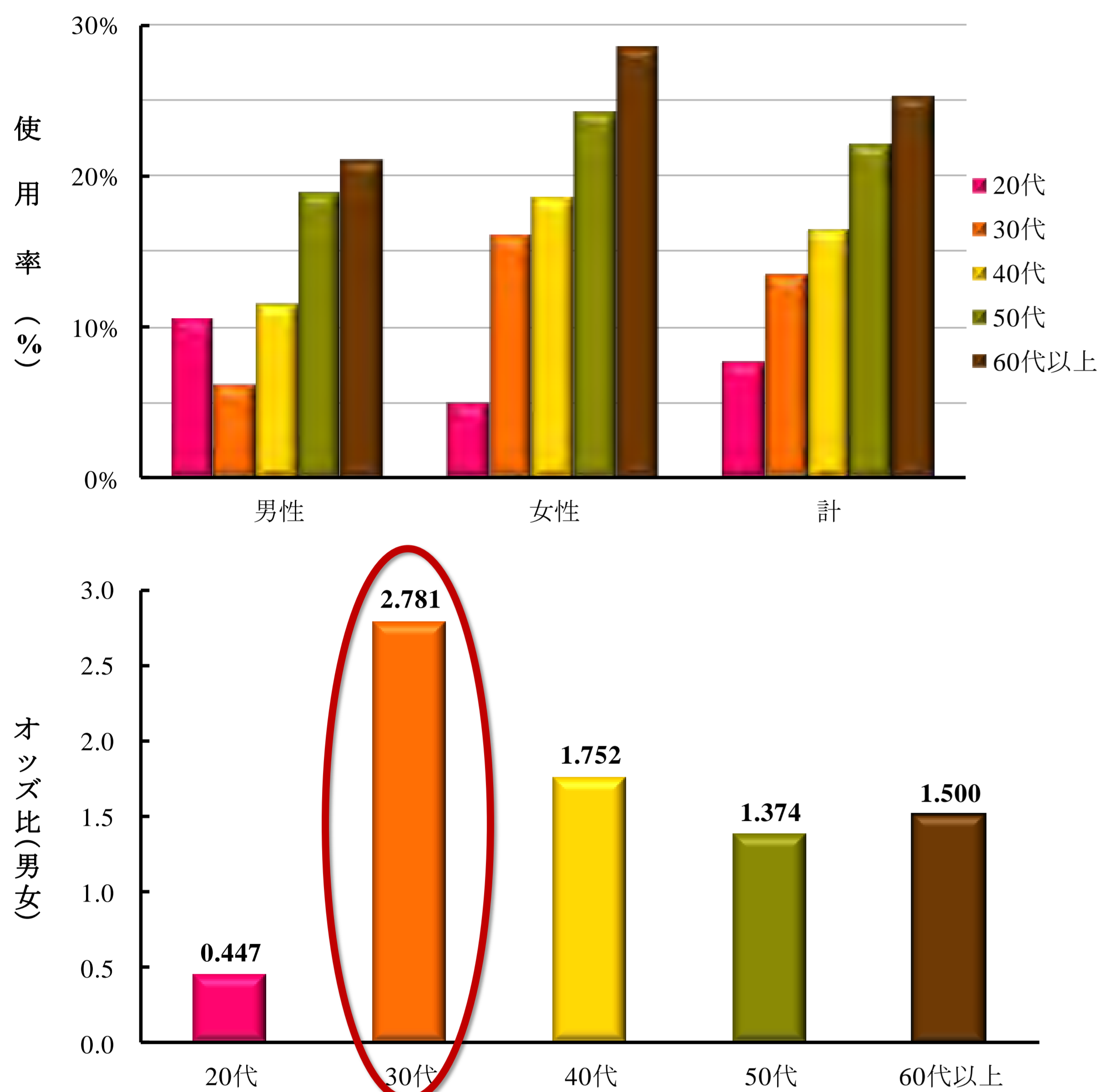
機能性食品を利用している人の知識や認識を明らかにする

結果

使用率

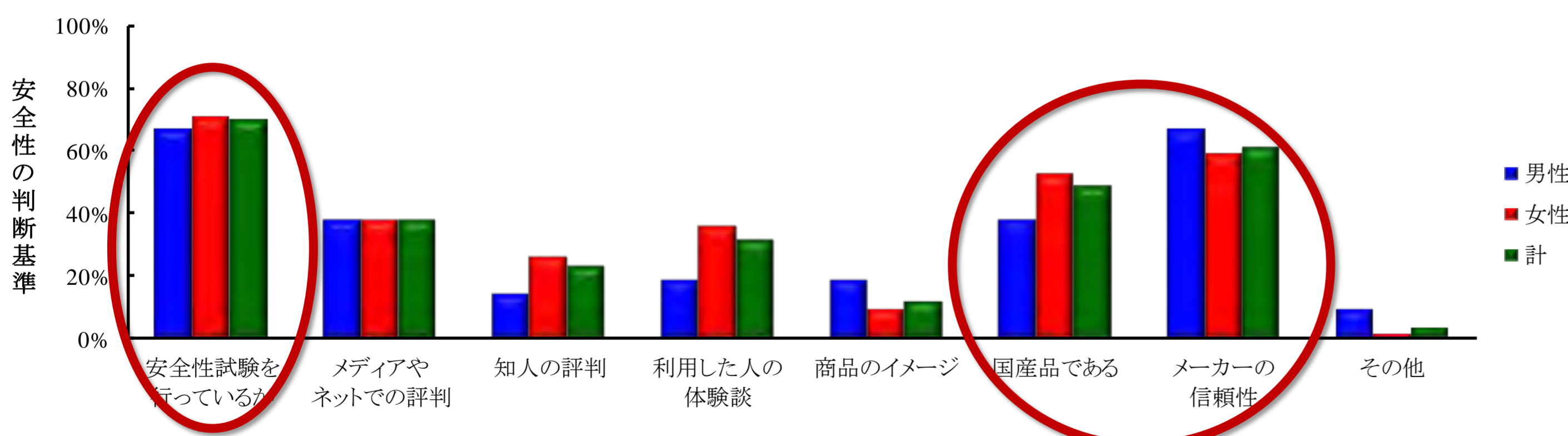
- 男性: 14.5%, 女性: 19.9%
- Odds Ratio (女性/男性): 1.456 (95%CI: 0.948 - 2.236)

年代別使用率



女性の使用率が高い(特に30代)

安全性の判断基準



エビデンスが重視されている。

※その一方で、イメージも重視されている。

- ✓ メーカーの信頼性
- ✓ 国産品であること

考察

機能性食品の利用率に男女による差異が認められた。

- 全般的に女性の使用率が高い(特に30代)
- 男性会社員の使用率が低い
- 運動している女性の使用率が高い

健康に関する意識が影響している可能性

方法

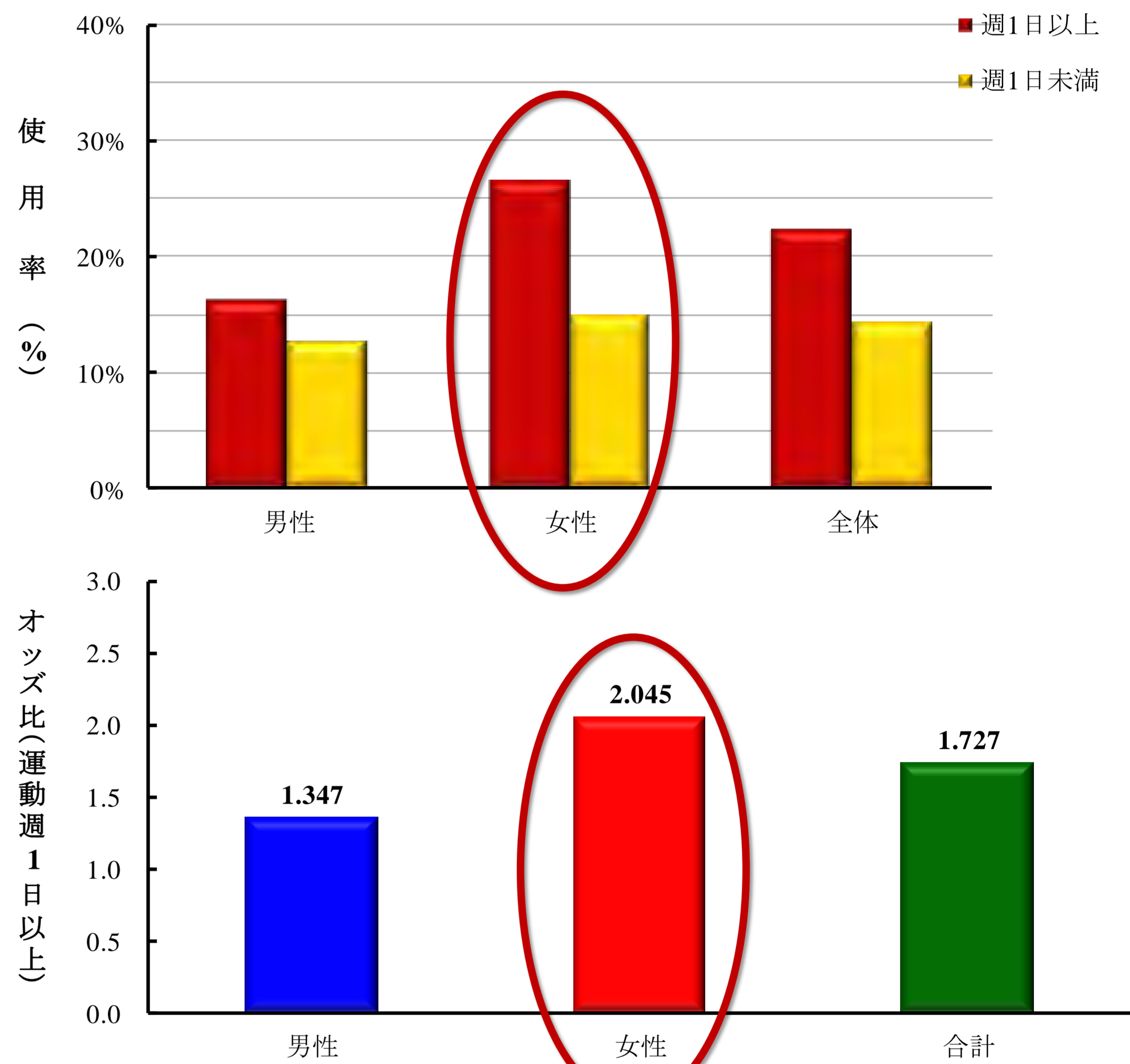
対象

- 参加者
計728名((株)オルトメディコで実施したヒト試験の参加者のうち、アンケート調査の実施に同意した者)
- 分析対象
計673名(回答漏れのない者)

質問紙(計16項目)

- 個人の属性に関する4項目
 - 年代, 性別, 職業, 運動の状況
- サプリメントの使用に関する12項目
 - サプリメント使用の有無, 現在使用しているサプリメント
 - 使用頻度, 使用目的
 - サプリメントに求める要素
 - 効果効能の判断基準, 安全性の判断基準
 - 使用する際の注意事項
 - 求める効果
 - 購入先, 購入価格
 - サプリメントに関する不満

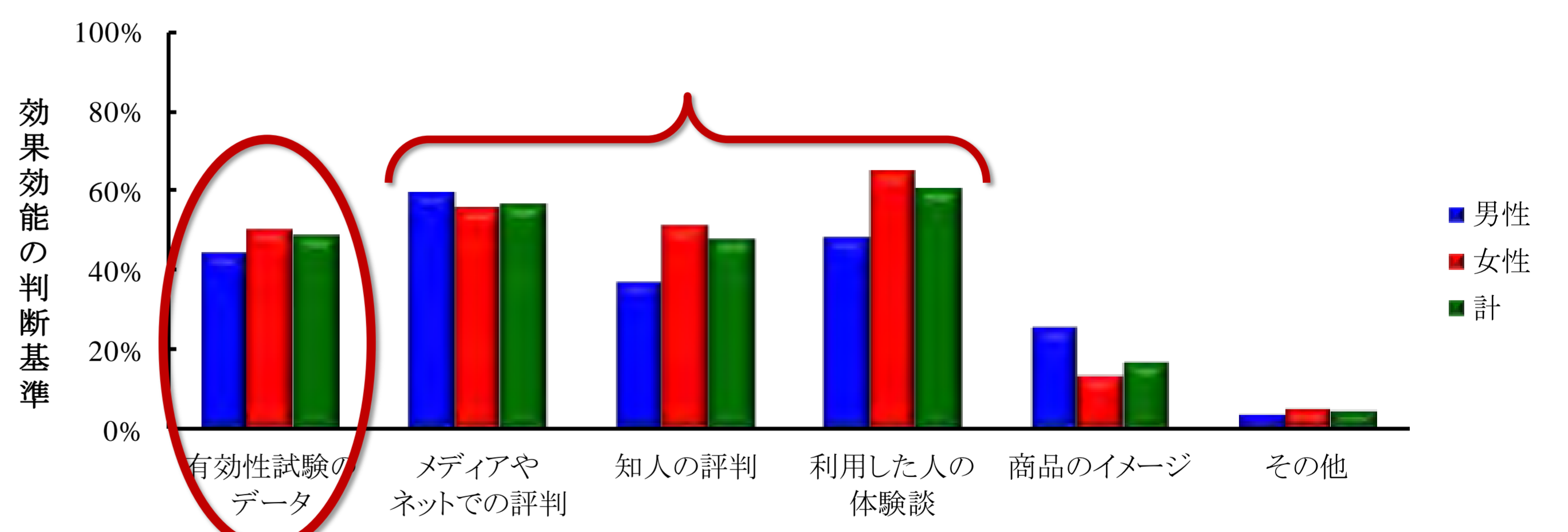
運動頻度と使用率



運動している女性は使用率が高い。

- ✓ 週1日以上運動している女性の使用率は、運動していない女性の約2倍

効果効能の判断基準



エビデンスよりも口コミや他者の評価が重視されている

- ✓ 有効性試験のデータ < メディアやネットでの評判
- ✓ 有効性試験のデータ < 利用したヒトの体験談
- ✓ 有効性試験のデータ ≒ 知人の評価

安全性・有効性の評価は、イメージや口コミの影響が小さい。

- 安全性: メーカーの信頼性や産地の影響が大きい
- 有効性: 他者の評価や体験談 ≧ エビデンス

エビデンスを基準にするよう、適切な啓蒙活動が必要